

新薬承認情報

記載は、販売名(会社名)、①成分名(下線:新有効成分)、②特徴—の順。

○10月17日薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会

■グリベックカプセル100mg(日本チバガイギー)

①メシル酸イマチニブ、②bcr-ablチロシンキナーゼ活性を阻害する慢性骨髄性白血病を効能・効果とする新有効成分含有医薬品。(希少疾病用医薬品)

「わが国で炭疽菌への
抗菌薬不足心配なし」
感染症学会が意見書

日本感染症学会(小林宏行理事長)は十六日、「わが国で炭疽菌に対する抗菌薬の不足を心配する必要はない」とする意見書を厚生労働省に提出した。

意見書は、米国ではペニシリンなどに対する耐性遺伝子を組み込んだ炭疽菌がテロに使われる可能性があることから、シプロフロキ

サシンを成人の炭疽に対する第一選択薬として取り上げる論文が多いが、レボフロキサシンなど他のニューキノロン系抗菌薬も効果があるとして、「ニューキノロン系抗菌薬の開発に優れたわが国では、炭疽菌に対する抗菌薬の不足を心配する必要はない」とした。

また、「厳しく慎むべきは不必要な抗生物質の投与」と強調。「まず行わなければならないのは確実な診断だ」として、米国の治療指針に基づき、発端者が炭疽であることが明確で周囲にも同様の発症者があ

り、明らかに炭疽菌に暴露された集団がある場合の対処法を示している(<http://www.kansensho.or.jp/>に掲載)。

炭疽への抗生物質で
坂口厚労相が見解

炭疽菌感染者に対し米国で使用されている抗生物質シプロフロキサシンについて、坂口厚労相は十九日、閣議後の会見で、わが国でも使用可能であり「十分対応できるだけの量はある」との見解を示した。

また、厚労省の今田技術総括審議官は同日の衆院厚生労働委員会、生物テロが発生した場合の治療法について答弁。

①炭疽、ペストの治療法は一般に流通している抗生物質が有効であり、メーカー・卸に相当の在庫が用意されている、②天然痘はワクチンが最も有効であるが、製造は停止しており、現在製造ラインの確保を検討中、③ボツリヌス毒素は呼吸管理が対症療法として最も有効で、現在医療機関に対応をお願いしている」と述べた。江田康幸氏(公明)の質問に答えたもの。

なお、厚労省では、炭疽等の治療に関する情報を同省ホームページに掲載している。

チメロサル問題で質疑
水銀を含むチメロサル
が小児へのワクチン製剤に
防腐剤として添加されてい
る問題が十九日の衆院厚生
労働委員会で取り上げら
れ、厚労省の宮島医薬局長
は、平成十二年六月に北里
研究所が開発した無添加タ
イプが承認、来春には販売
予定であることを紹介し
た。併せて、今後もワクチ
ン業者に対しチメロサールの
除去・減量を指導してい
く考えを示した。家西 悟
氏(民主)の質問に答えた。

で、平成八年一月から始めた井波総合病院では既に定着しているという。一方、富山市民病院では昨年一部外来で試みたが、患者から「違和感がある」などの声があり、取りやめた。(北日本新聞)

【愛媛】保険証をカード化
県内に健保組合の本部がある企業で、カード式健康保険証を導入する動きが広がっている。カードはクレジットカードと同じ大きさで、保険者、被保険者番号、性別、生年月日などの基本情報が文字表記と合わせてバーコード化されている。六県立病院ではカード式の対応を決めた。(愛媛新聞)



**「株式会社による医療
機関経営」アンケート
実施中(10月末締切)**

…詳細・応募は…
■第4042号(10月13日
号。回答用ハガキ付)
■弊社HP(<http://www.jmedj.co.jp/>)